

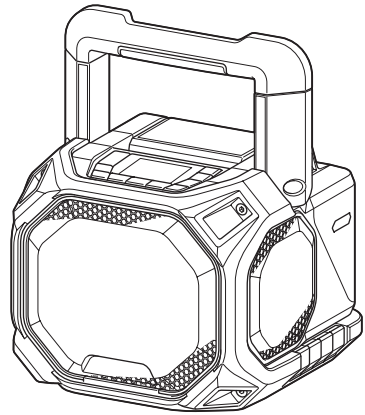
**Makita**

## 取扱説明書

## 充電式スピーカ

モデル MR014G

 **Bluetooth®**



このたびは充電式スピーカをお買い上げ  
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく  
お読みいただき本製品の性能を十分ご理  
解の上で、適切な取り扱いと保守をして  
いただいて、いつまでも安  
全に能率よくお使いくださ  
るようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお  
手元に大切に保管してくだ  
さい。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 充電当たりの使用時間	4
・ 電波法に基づく認証について	5
・ Bluetooth について	5
・ Bluetooth 通信の取り扱いについて	5
・ aptX™ について	5
・ 安全に正しくお使いいただくために	6
・ IP 表示について (防じん・防水性能)	12
・ 各部の名称	13
・ 別販売品のご紹介	15
・ バッテリーおよび充電器	15
・ 電源について	16
・ バッテリーの充電	16
・ バッテリー残容量表示	16
・ 14.4 V / 18 V バッテリーの場合	16
・ 36 V (40 V max) バッテリーの場合	17
・ バッテリーについて	18
・ バッテリーを長持ちさせるには	18
・ バッテリーの回収について	18
・ 充電器の点検・修理・保管方法	18
・ バッテリーの取り付け/取りはずし方	19
・ AC アダプタの使い方	20
・ 携帯機器の充電	21
・ ライティング機能の設定	22
・ オーディオ設定	23
・ イコライザー機能	23
・ 外部入力について	24
・ AUX IN 入力端子への接続	24
・ マイク入力端子への接続	25
・ Bluetooth 機能	26
・ Bluetooth 機器とのペアリング	26
・ Bluetooth 機器の接続解除	27
・ Bluetooth 機器の登録情報を削除する	27
・ Bluetooth 機能 (2 つのスピーカで音楽を聞く)	28
・ スピーカを接続する	28
・ 再生する	29
・ ダブル/ステレオモードを切り替える	29
・ True Wireless Stereo 機能を解除する	29
・ Bluetooth 機能 (複数のスピーカで音楽を聞く)	30
・ スピーカを接続する	30
・ 再生する	32
・ スピーカ接続を解除する	32
・ 保守/点検について	33
・ 本製品のお手入れ	33
・ ご修理の際は	33
・ 故障かな?と思ったら	34

# 主要機能

主要機能		モデル	MR014G
スピーカ	ウーハー	φ 140.8 mm × 1 個 (低音用)	
	ツイータ	φ 40 mm × 1 個 (高音用)	
	パッシブラジエータ	φ 100.7 mm × 2 個	
入力端子		AUX IN (φ 3.5 mm) マイクジャック (φ 6.3 mm)	
実用最大出力		14.4 V : 15 W 18 V : 20 W 36 V : 20 W AC アダプタ : 20 W	
電源	スライド式 バッテリー	DC14.4 V、18 V、36 V	
	家庭用電源	AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプタ使用)	
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V	
	出力電流	直流 2.4 A	
	形状	USB Type-A	
Bluetooth	適合規格	Bluetooth Ver5.1	
	対応プロファイル	A2DP (SCMS-T 対応)、AVRCP	
	オーディオ コーデック	SBC、AAC、aptX™、aptX™HD	
	通信距離	通信保証距離 : 30 m 通信可能距離 : 100 m (使用環境によって異なる)	
	送信出力	Class1	
			True Wireless Stereo 対応
本製品寸法 (長さ×幅×高さ)		243 mm × 236 mm × 313 mm (ハンドルを起こしたとき) 243 mm × 236 mm × 205 mm (ハンドルを倒したとき)	
質量 (バッテリー、AC アダプタ除く)		3.8 kg	
防じん・防水性能		IP65 (バッテリー収納カバー、ゴムカバーを 閉めたとき)	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

# 主要機能

## —充電当たりの使用時間※ 1

電圧	バッテリーの種類	使用時間※ 2 ※ 3 (ErP)			
		前面の LED：消灯		前面の LED：常時点灯	
		Bluetooth	AUX IN	Bluetooth	AUX IN
14.4 V	BL1415N	約 10 時間	約 10 時間	約 7.0 時間	約 7.5 時間
	BL1430B	約 16 時間	約 17 時間	約 12 時間	約 12 時間
	BL1450	約 31 時間	約 33 時間	約 23 時間	約 24 時間
	BL1460B	約 34 時間	約 36 時間	約 25 時間	約 26 時間
18 V	BL1815N	約 10 時間	約 11 時間	約 8.0 時間	約 8.5 時間
	BL1820B	約 14 時間	約 15 時間	約 11 時間	約 11 時間
	BL1830B	約 19 時間	約 20 時間	約 15 時間	約 16 時間
	BL1850B	約 36 時間	約 37 時間	約 28 時間	約 29 時間
	BL1860B	約 43 時間	約 45 時間	約 34 時間	約 35 時間
36 V (40 V max)	BL4020	約 23 時間	約 24 時間	約 19 時間	約 19 時間
	BL4025	約 30 時間	約 31 時間	約 24 時間	約 25 時間
	BL4040	約 47 時間	約 49 時間	約 39 時間	約 40 時間
	BL4040F	約 47 時間	約 49 時間	約 39 時間	約 40 時間

※ 1：使用時間は参考値です。バッテリーの充電状態や使用環境により異なります。

※ 2：JEITA 基準：電子情報技術産業協会基準（スピーカ出力：100 mW 時）

※ 3：前面の LED が音に合わせて点滅する場合は、消灯と常時点灯の間の時間になります。

## 主要機能

### 電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること。
- ・ 本製品に貼ってあるラベルの適合マーク、および認証番号を消すこと。

## Bluetooth®

### Bluetooth について

- ・ *Bluetooth* とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- ・ *Bluetooth* は、*Bluetooth* SIG の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

### Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ *Bluetooth* 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。*Bluetooth* 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本製品はすべての *Bluetooth* 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

## Qualcomm® aptX™ HD

### aptX™ について

Qualcomm® aptX™ は、Qualcomm Technologies, Inc. および / またはその子会社の製品です。



Qualcomm® は、米国およびその他の国で登録された Qualcomm Incorporated の登録商標です。

aptX™ は、米国およびその他の国で登録された Qualcomm Technologies International, Ltd. の商標です。





# 安全に正しくお使いいただくために

JPC018-1

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷などを負う恐れがある内容を示しています。
 <b>注意</b>	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
<b>注</b>	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

 	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

# 安全に正しくお使いいただくために

## ⚠ 警告

付属の AC アダプタは日本国内専用です。



- ・ 付属の AC アダプタは、交流 100 V (AC100 V) の家庭用電源コンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

マキタが指定した専用の AC アダプタ以外は使用しない。



- ・ 改造した AC アダプタを使用しないでください。本製品の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用したり、充電したりしない。



- ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
- ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

内部にものや水などを入れない。



- ・ 金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

AC アダプタプラグや電源プラグを濡れた手や油分などで汚れた手で抜き挿ししない。



- ・ 感電の原因となります。

電源プラグがコンセントに挿し込まれたまま、AC アダプタプラグを本製品から取りはずして放置しない。



- ・ 通電したままの AC アダプタプラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

電源プラグ、コードや AC アダプタプラグが傷んだり、コンセントの挿し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、ショート、発火の原因となります。

# 安全に正しくお使いいただくために

## ⚠ 警告

### 異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いをするなどの異常な状態に気がついたときは…



- ・ 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーをはずし、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。



- ・ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 本製品または充電器からバッテリーをはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。



- ・ バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。



- ・ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。



- ・ 液晶画面が破損した場合、液晶（液体）が漏れ出す可能性があります。液晶を吸い込んだり、口に入れたりしないでください。中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったたり、目に入ってしまった場合は、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

### マキタが指定した専用バッテリー以外を使わない。



- ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

### バッテリーは、火への投入、加熱をしない。



- ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

### バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。



- ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。



# 安全に正しくお使いいただくために

## ⚠ 警告

バッテリーは専用充電器以外では充電しない。



- ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、火災の恐れがあります。

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させない。（USB 電源端子装備モデルのみ）



- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると短絡（ショート）し、発火、発煙の恐れがあります。

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管する。



- ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
- ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。（バッテリーカバー付きの場合）

子供に充電式製品、充電器およびバッテリーで遊ばせない。



- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

本製品を持ち運ぶときは、落とさないようにハンドルを握るなど、しっかり保持する。



- ・ 破損や故障の原因となります。

電源プラグがコンセントに挿し込まれたまま、AC アダプタプラグを抜かない。



- ・ 感電の恐れがあります。

# 安全に正しくお使いいただくために

## ⚠ 警告

バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。

本製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

## ⚠ 注意

不安定な場所に置かない。



- ・ 落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気があたるような場所に置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。



- ・ 露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内など、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。



- ・ 本製品は乾いた布で拭いてください。ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。



- ・ 付属品はマキタ純正品を使用してください。故障の原因となります。

## ⚠ 注意



・ 雷が鳴ったり、長期間使用しない場合には、電源から電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因になります。



・ 音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間大きな音量で聞くと、聴力に悪影響を与える恐れがあります。



・ バッテリーを、周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発火、発煙の恐れがあります。



・ バッテリーを着脱するときは、バッテリーを落下させないように注意してください。けがの原因になります。



・ 落としたり、損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

接続プラグや電源プラグを取りはずすときは、コードを持たずに必ずプラグ自体を持って引き抜いてください。



・ 故障の原因となります。

十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。



アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。



・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守、点検、修理は受付できません。



# IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

## IP 6 5

### 有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ~ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

### 外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

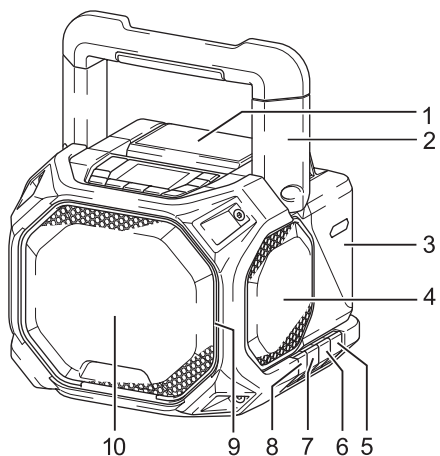
保護等級	内容
0 ~ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。

## 注

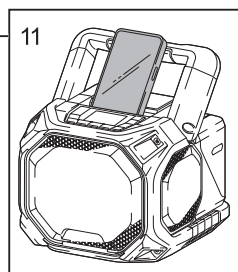
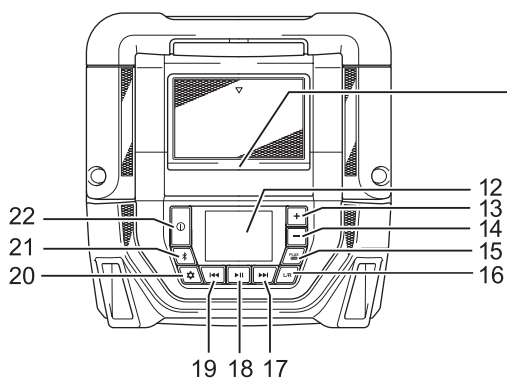
- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

# 各部の名称

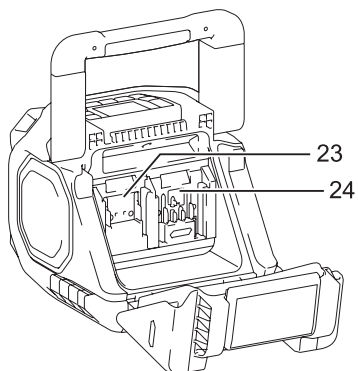
[前面/側面]



[上面]



[後面:3を開いた状態]



## 各部の名称

1. バッテリー収納カバー用ロック
2. ハンドル
3. バッテリー収納カバー
4. パッシブスピーカ
5. AC アダプタ端子
6. USB 出力端子
7. AUX IN 入力端子
8. マイク入力端子
9. LED ライト
10. スピーカ
11. 携帯機器スタンド  
ハンドルを斜めにするると携帯機器のスタンドにすることも可能です。
12. ディスプレイ
13. 音量調整 (+) ボタン
14. 音量調整 (-) ボタン
15. PLUS (Pair) ボタン
16. L/R ボタン
17. 選曲 (次の曲) / 早送りボタン
18. 再生 / 一時停止ボタン
19. 選曲 (前の曲) / 早戻しボタン
20. メニューボタン
21. PAIR ボタン
22. 電源ボタン
23. 14.4/18 V バッテリー用端子
24. 36 V (40 V max) バッテリー用端子

### 標準付属品

標準付属品	モデル	MR014GZ
バッテリー		×
充電器		×
AC アダプタ (DC18 V 2.0 A)		○

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

### バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL1815N (1.5 Ah)	A-60311
	◎ BL1820B (2.0 Ah)	A-61715
	◎ BL1830B (3.0 Ah)	A-60442
	◎ BL1850B (5.0 Ah)	A-59900
	◎ BL1860B (6.0 Ah)	A-60464
	◎ BL1415N (1.5 Ah)	A-58235
	◎ BL1430B (3.0 Ah)	A-60698
	◎ BL1450 (5.0 Ah)	A-59259
	◎ BL1460B (6.0 Ah)	A-60660
対応充電器 (14.4 V / 18 V 用)	DC18RC (急速充電器)	JPADC18RC
	DC18RD (2口急速充電器)	JPADC18RD
	DC18RE (急速充電器)	JPADC18RE
	DC18RF (急速充電器)	JPADC18RF
	DC18SD (充電器)	JPADC18SD
	DC18SF (4口充電器)	JPADC18SF
対応充電器 (36 V(40 V max)用)	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ  
部品番号：A-69967  
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

# 電源について

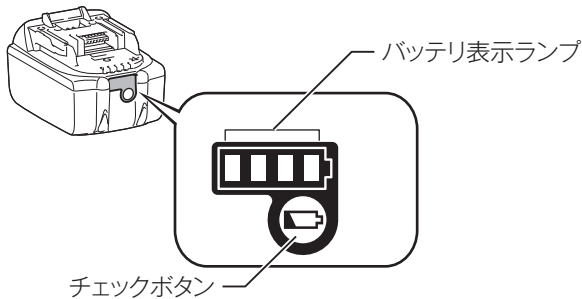
## バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。
- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

## バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。

### 14.4 V / 18 V バッテリーの場合

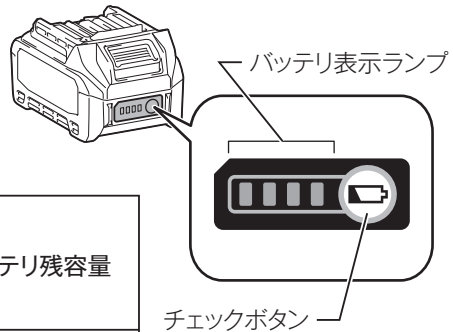


バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ :点灯    ▨ :点滅    □ :消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ■ ■ ↓ ↑	バッテリーの異常です。



# 電源について

## 36 V (40 V max) バッテリーの場合



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ :点灯    ▨ :点滅    □ :消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリーの異常です。

### 注

- 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- バッテリーは AC アダプタでは充電できません。
- 本製品のディスプレイにバッテリー残量低下アイコン□が点滅表示されたり、バッテリー容量低下アイコン▨が表示されたら、充電したバッテリーと交換してください。

## 電源について

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

### バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。  
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

### バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却してから充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電して保管することをおすすめします。

### バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

### 充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

# 電源について

## バッテリーの取り付け／取りはずし方

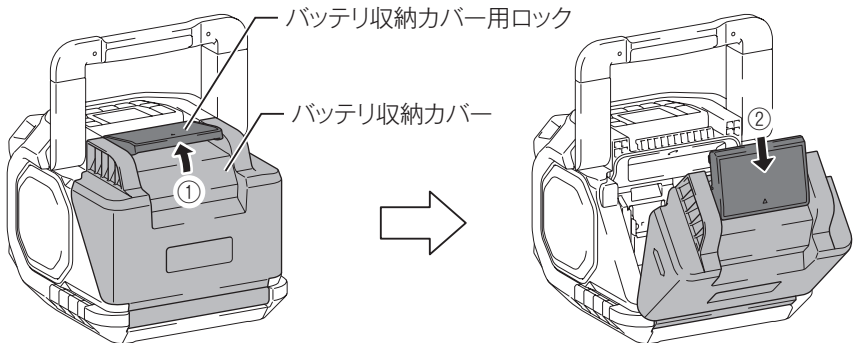
### ⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に「カチッ」と音がしない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

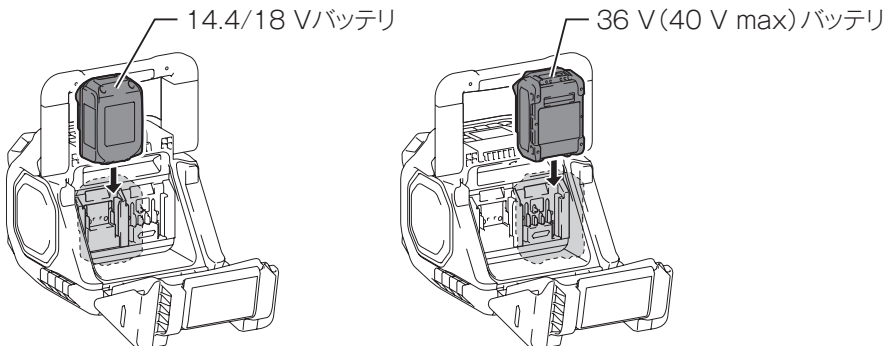
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

### 注

- ・ バッテリー収納カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。
1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。



2. バッテリーの種類にあった取り付け部に奥まで挿入します。  
この際、バッテリーを本製品の溝に合わせ、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。



3. バッテリー収納カバーを閉じ、ロックをします。

## 電源について

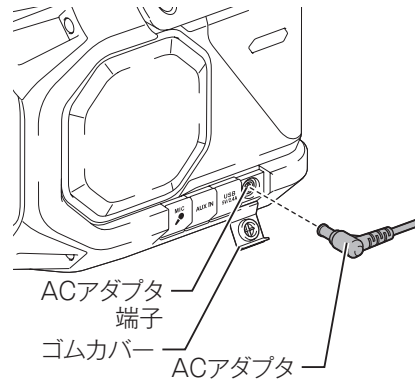
バッテリーを本製品から取りはずすときは、

1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
2. スライドさせると取りはずせます。

### ACアダプタの使い方

・ 本製品の右側面には AC アダプタ端子があります。

1. ゴムカバーをめくり、AC アダプタ端子へ AC アダプタをつなぎます。
2. AC アダプタの電源プラグを電源コンセントにつなぎます。  
AC アダプタを使用しているときにはバッテリーは自動的に接続が切れま  
す。



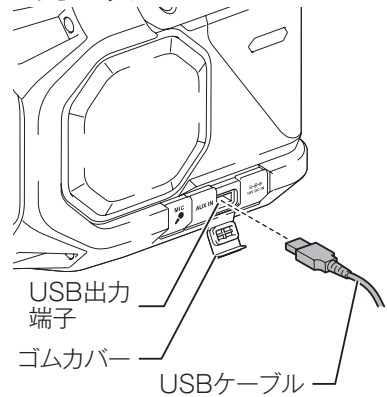
### 注

- ・ AC アダプタではバッテリーの充電はできません。
- ・ 本製品を使用しないときは AC アダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ ご使用の後は AC アダプタを必ず片付けてください。小さな子供などがコードで遊ぶと大変危険です。

# 電源について

## 携帯機器の充電

- ・ 本製品の右側面にはUSB 出力端子があり、本製品の電源が入っているときのみ携帯機器などに充電をすることができます。
1. ゴムカバーをめくり、携帯機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）を市販のUSB ケーブルでUSB 出力端子に接続します。
  2. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
  3. 充電完了後は、USB ケーブルをはずしてゴムカバーを閉じます。

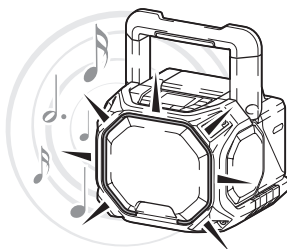


## 注

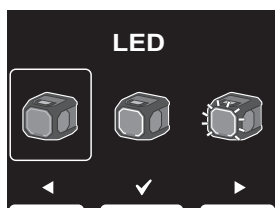
- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した携帯機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ 携帯機器の種類によっては動作しない、または充電できない機種があります。
- ・ パソコンのUSB 端子と接続しないでください。故障の原因になります。
- ・ バッテリーの消耗を防ぐため、充電完了後はUSB 出力端子からUSB ケーブルをはずし、ゴムカバーを閉じてください。

# ライティング機能の設定

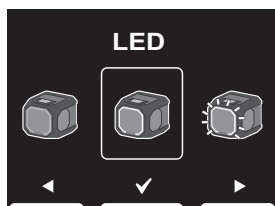
- ・ LED ライトを点灯させたり、音楽のリズムに合わせて点滅させることができます。



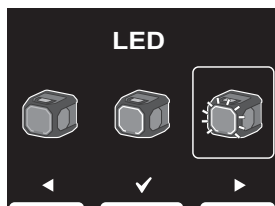
1. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
2. メニューボタン⚙️を押し、選曲（前の曲） / 早戻しボタン◀◀を押して設定に入ります。
3. 選曲（次の曲） / 早送りボタン▶▶または選曲（前の曲） / 早戻しボタン◀◀を押して、ライティング機能を選択します。
4. 再生 / 一時停止ボタン▶||を押して選択を確定します。



を選択すると、LED ライトが消灯します。



を選択すると、LED ライトが継続的に点灯します（初期設定）。



を選択すると、音楽のリズムに合わせて LED ライトが点滅します。  
ビートの強い音楽に効果的です。

## 注

- ・ LED ライトの点滅はリズムの強い音楽に適しています。曲によっては LED ライトが点滅しない場合があります。

# オーディオ設定

## イコライザー機能

- 音楽のジャンルに合わせて、プリセットされている6種類のモードを設定することができます。また、低音、中音、高音を±6の範囲でカスタマイズでき、好みの音質をいつでも再現することができます。
- 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
  - メニューボタン⚙️を押し、再生/一時停止ボタン▶️||を押し、イコライザー選択メニューに入ります。
  - 選曲(次の曲)/早送りボタン▶️▶️||または選曲(前の曲)/早戻しボタン||◀️◀️を押し、イコライザーモードを選択するか、「MY EQ」モードを設定します。
  - 再生/一時停止ボタン▶️||を押し、選択を確定します。  
イコライザーモードには、「FLAT」、「JAZZ」、「ROCK」、「CLASSIC」、「POP」、「NEWS」、「MY EQ」があります。
  - 手順3で「MY EQ」を選択した場合は、選曲(次の曲)/早送りボタン▶️▶️||、選曲(前の曲)/早戻しボタン||◀️◀️、再生/一時停止ボタン▶️||を使って、高音、中音、低音のレベルを設定します。

## ● EQモード概要

EQモード	音質
FLAT	自然な音質を再現します。
JAZZ	人の声の表現を強めにします。
ROCK	低音・高音を強めて、迫力ある音質が楽しめます。
CLASSIC	中音・高音を強めて、柔らかく爽やかな印象にします。
POP	テンポのよい楽曲向けに高音を抑えて、聞きやすくします。
NEWS	低音や高音の背景雑音を弱めて、人の声を強めます。

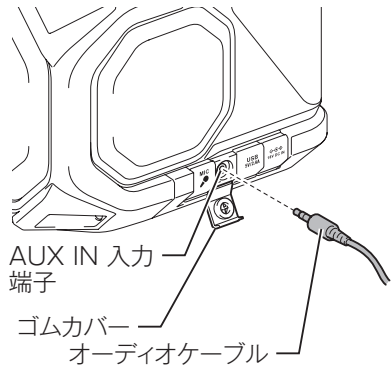
## 注

- イコライザーで低音を強調した状態で音量を大きくすると、音割れや歪みが発生することがあります。この場合は、音量を調整してお聞きください。

## 外部入力について

### AUX IN 入力端子への接続

- ・ 本製品の右側面には AUX IN 入力端子があります。お手持ちの携帯機器などを接続することができます。
1. ゴムカバーをめくり、外部機器（例：スマートフォンやポータブルオーディオ機器など）のオーディオケーブルを AUX IN 入力端子に接続します。
  2. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
  3. 外部機器および本製品の音量調整をします。音質を高めるため、あらかじめ外部機器の音量を最大値の2/3以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整します。



### 注

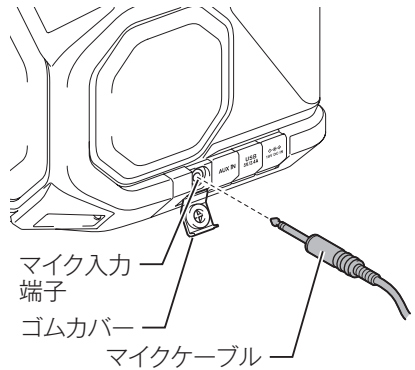
- ・ 外部機器を接続する際は、必ず本製品と外部機器の電源を切ってください。
- ・ オーディオケーブルは同梱付属品として含まれていません。
- ・ 外部入力モードの再生中は、曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの情報はディスプレイに表示されません。



## 外部入力について

### マイク入力端子への接続

- ・ 本製品の右側面にはマイク入力端子があります。マイクスピーカとしてご使用いただけます。
1. ゴムカバーをめくり、市販のマイクのマイクケーブルをマイク入力端子に接続します。
  2. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
  3. マイクの電源を入れます。
  4. 必要に応じてスピーカの音量調整(+)ボタンまたは音量調整(-)ボタンを押して、音量を調節します。



### 注

- ・ マイクをスピーカの近くへ置いたり、スピーカに向けて近づけないでください。フィードバック（ハウリング）が発生して、故障の原因となることがあります。

### マイクの音量を設定する

1. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
2. メニューボタン⚙️を押し、選曲（次の曲） / 早送りボタン▶▶を押して設定に入ります。
3. 選曲（次の曲） / 早送りボタン▶▶または選曲（前の曲） / 早戻しボタン◀◀を押して、マイクの音量レベルを設定します。
4. 再生 / 一時停止ボタン▶||を押して選択を確定します。

# Bluetooth 機能

- ・ 本製品を Bluetooth 機器と接続して、音楽などをワイヤレスで再生することができます。

## Bluetooth 機器とのペアリング

### ● Bluetooth 機器を登録して再生する

1. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。“Pairing”が表示され、Bluetooth モードに入ります。
2. お手持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、使用可能なデバイスを検索します。
3. Bluetooth 機器のメニューに“MR014G”が表示されたら選択します。
4. Bluetooth 機器と本製品がペアリングされます。
5. ペアリングが完了すると、ピープ音が鳴り、“Paired”が表示されます。
6. Bluetooth 機器を操作して音楽を本製品のスピーカーで再生します。

#### 本製品の操作方法

Bluetooth 機器、本製品のどちらでも音量調整や選曲などの操作をすることができます。

再生 / 一時停止ボタン▶||を押し、再生と一時停止を繰り返します。  
選曲（前の曲） / 早戻しボタン◀◀を押しと前の曲が、選曲（次の曲） / 早送りボタン▶▶を押しと次の曲が選曲されます。

◀◀を長押しすると早戻し、▶▶を長押しすると早送りをすることができます。

## 注

- ・ 2 個の Bluetooth 機器が本製品と初めてペアリングする際、同時に本製品を検索すると両方の Bluetooth 機器に“MR014G”が表示されます。しかし、片方の Bluetooth 機器と接続すると、ほかの Bluetooth 機器からは表示が消えます。
- ・ 一時的に Bluetooth 機器が本製品と切断されたとき、ペアリングから設定する必要があります。
- ・ お手持ちの Bluetooth 機器上に“MR014G”が表示されながらか接続ができない場合は、お手持ちの Bluetooth 機器のメニューから“MR014G”を削除し、ペアリングから設定してください。
- ・ 本製品とペアリングされた機器の有効距離は約 30 m ですが、見通しが良ければ約 100 m まで通信可能です。
- ・ 本製品と Bluetooth 機器の間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。
- ・ Bluetooth 機器が絶対音量でない場合、音質を高めるため、あらかじめ Bluetooth 機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ Bluetooth 機器によって接続のしやすさは異なります。本製品と接続をする前に、Bluetooth 機器の取扱説明書に記載された性能をご参照ください。ペアリングをした Bluetooth 機器のすべての機能を保証する訳ではありません。

# Bluetooth 機能

- Bluetooth 機器や音楽ファイルによっては、上記の操作に対応しない場合があります。
- Bluetooth 機器によっては、着信時に一時的に本製品との接続が切断される場合があります。また、メールやメッセージの受信時、その他の理由で一時的に音が出なくなることがありますが、それらは接続した Bluetooth 機器によるもので、本製品の不具合ではありません。
- Bluetooth モードの再生中は、曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの情報がディスプレイに表示されます。

## ●登録済みの Bluetooth 機器を再生する

1. 電源ボタン①を押し、電源を入れます。
2. お手持ちの Bluetooth 機器のメニューで“MR014G”を選択して接続します。機器によっては自動的に接続されます。
3. Bluetooth 機器で再生する音楽を本製品のスピーカーで聞くことができます。

## 注

- 本製品は最大 8 台までの Bluetooth 機器を登録できます。最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- すでに、Bluetooth 機器とペアリングしてある場合、本製品は最後に接続した Bluetooth 機器に接続を試みます。もし、最後に接続した Bluetooth 機器と接続できないときは、ほかの Bluetooth 機器との接続が可能になります。

## Bluetooth 機器の接続解除

- Bluetooth 機器の接続を解除するには、PAIR ボタン✳️を約 2 ~ 3 秒押し続けてください。  
“Pairing”が表示され、接続が解除されたことを示します。
- Bluetooth 機器の Bluetooth をオフにすることで、接続を解除することもできます。

## Bluetooth 機器の登録情報を削除する

- 本製品に登録されている Bluetooth 機器の情報を削除するには、PAIR ボタン✳️を約 7 秒以上長押しします。  
ピープ音が 2 回鳴り、すべての登録情報がリセットされます。

## Bluetooth 機能（2つのスピーカで音楽を聞く）

- True Wireless Stereo 機能を使って、本製品 2 台をワイヤレススピーカとして Bluetooth 機器に接続し、音楽を聞くことができます。



### スピーカを接続する

#### ● 1 台目のスピーカを Bluetooth 機器と接続する

1. はじめに接続するスピーカと Bluetooth 機器をペアリングします。詳細手順は 26 ページの「● Bluetooth 機器を登録して再生する」を参照してください。
2. PLUS (Pair) ボタンを押して、**ST**・**MULTI**を表示します。  
**ST**が点滅します。
3. PLUS (Pair) ボタンを押して、“ST Pair” モードに入ります。“Pair” が点滅します  
(**ST**が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に“ST Pair”モードに入ります)。
4. “Pair” 表示は 1 分間点滅します。表示点滅中に 2 台目のスピーカを接続することができます。

#### ● 2 台目のスピーカを接続する

1. 2 台目のスピーカの電源ボタン①を押し、電源を入れます。
2. PLUS (Pair) ボタンを押して、**ST**・**MULTI**を表示します。  
**ST**が点滅します。
3. PLUS (Pair) ボタンを押して、“ST Pair” モードに入ります。このとき 1 台目のスピーカが“ST Pair”モード (“Pair” 点滅中) であれば、自動的に 2 台のスピーカをペアリングします  
(**ST**が点滅した後に約 10 秒間操作しなければ、自動的に“ST Pair”モードに入ります)。
4. 接続が完了すると、2 台のスピーカに **L**・**ST**・**R**が表示されます。

## Bluetooth 機能（2つのスピーカで音楽を聞く）

### 注

- ・ 2台目のスピーカは、1台目のスピーカを“ST Pair”モードに設定した後、1分以内に接続してください。1分を超えると、1台目のスピーカの“ST Pair”モードがキャンセルされます。その場合は、再度1台目のスピーカを“ST Pair”モードにしてやり直してください。
- ・ 本製品は別のMR014Gと接続できます。それ以外のモデルとは接続できない場合があります。

### 再生する

- ・ 本製品と接続しているBluetooth機器を使って音楽を再生できます。

### 注

- ・ 2台のスピーカのいずれかで調整した音量とイコライザーの設定値（低音、中音、高音を除く）は、もう1台のスピーカへも自動的に引き継がれます。
- ・ Bluetooth機器が絶対音量でない場合、音質を高めるため、あらかじめBluetooth機器の音量を最大値の2/3以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ Bluetooth機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また本製品の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。
- ・ 2台のスピーカのペアリング有効距離は約30mですが、見通しが良ければ約100mまで通信可能です。
- ・ 2台のスピーカの間には障害物がある場合は有効距離は短くなります。

### ダブル／ステレオモードを切り替える

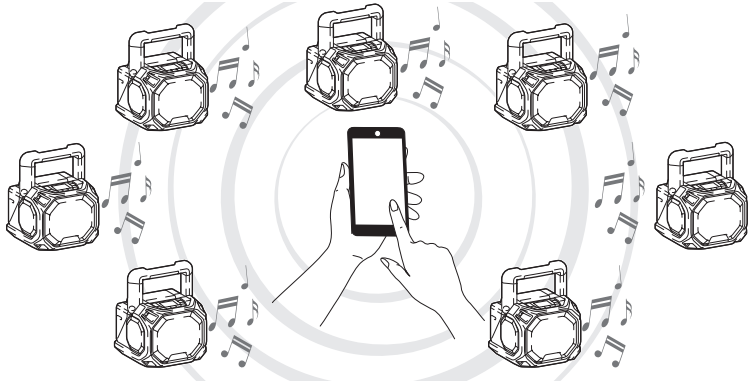
- ・ Bluetooth接続された2台のスピーカを、ダブルモードとステレオモードに切り替えて音楽を聞くことができます。
1. 接続された2台のスピーカのいずれかのL/Rボタンを押します。
  2. L/Rボタンを押して、**L・ST・R**、**L・ST・L**、**R・ST・R**のいずれかを選択します。  
**L・ST・R**：2台のスピーカから同じ音を再生します（ダブルモード）。  
**L・ST・L**および**R・ST・R**：2台のスピーカから左右それぞれの音声チャンネルを再生します。いずれかのスピーカが**L・ST・L**モードの場合、もう一方のスピーカは自動的に**R・ST・R**モードとなります。
  3. 表示されたモードにて音楽が再生されます。

### True Wireless Stereo 機能を解除する

- ・ True Wireless Stereo 機能を解除するには、PLUS (Pair) ボタンを長押しします。

## Bluetooth 機能（複数のスピーカで音楽を聞く）

- Bluetooth 接続により、最大 10 台までのスピーカをダブルモードで接続することができます。複数のスピーカをワイヤレスで接続すれば、広い空間でも明確で迫力ある音声を届けることができます。



### スピーカを接続する

#### ●親機スピーカを接続する

- 親機とするスピーカと Bluetooth 機器をペアリングします。詳細手順は 26 ページの「● Bluetooth 機器を登録して再生する」を参照してください。
- PLUS (Pair) ボタンを押して、**ST**・**MULTI**を表示したら、L/R ボタンを押して、**MULTI**を選択します。  
**MULTI**が点滅します。
- PLUS (Pair) ボタンを押して、“MULTI Pair” モードに入ります（**MULTI**が点滅した後約 10 秒間操作しなければ、自動的に“MULTI Pair”モードに入ります）。
- “Pair” 表示は 1 分間点滅します。表示点滅中に子機スピーカを接続することができます。

#### ●子機スピーカを接続する

- 子機とするすべてのスピーカの電源ボタン①を押し、電源を入れます。
- PLUS (Pair) ボタンを押して、**ST**・**MULTI**を表示したら、L/R ボタンを押して、**MULTI**を選択します。  
**MULTI**が点滅します。
- PLUS (Pair) ボタンを押して、“MULTI Pair” モードに入ります。このとき親機スピーカが“MULTI Pair”モード（“Pair”点滅中）であれば、自動的に親機と子機をペアリングします（**MULTI**が点滅した後約 10 秒間操作しなければ、自動的に“MULTI Pair”モードに入ります）。
- 接続が完了すると、親機スピーカに“PARENT”、子機スピーカに“CHILD”がそれぞれ表示されます。

## Bluetooth 機能（複数のスピーカで音楽を聞く）

### 注

- ・ 子機スピーカは、親機スピーカを“MULTI Pair”モードに設定した後、1分以内に接続してください。1分を超えると、親機スピーカの“MULTI Pair”モードがキャンセルされます。その場合は、再度親機スピーカを“MULTI Pair”モードにしてやり直してください。
- ・ 本製品は別のMR014Gと接続できます。それ以外のモデルとは接続できない場合があります。

### ●子機スピーカを追加接続する

- ・ 子機スピーカは、最大 10 台まで必要に応じていつでも追加接続することができます。
1. 追加する子機スピーカの電源ボタン①を押し、電源を入れます。
  2. 親機スピーカの PLUS (Pair) ボタンを押して、“MULTI ADD” を表示します。
  3. 追加する子機スピーカを“MULTI Pair”モードにします。  
詳細手順は 30 ページの「●子機スピーカを接続する」を参照してください。
  4. 接続が完了すると、子機スピーカに“CHILD”が表示されます。

### 注

- ・ 子機スピーカを追加接続する場合、子機 1 台に対し 1 分以内に接続してください。

## Bluetooth 機能（複数のスピーカで音楽を聞く）

### 再生する

- ・ 本製品と接続している Bluetooth 機器を使って音楽を再生できます。

### 注

- ・ 親機スピーカで調整した音量とイコライザーの設定（低音、中音、高音を除く）は、子機スピーカへ自動的に同期されます。子機スピーカの音量やイコライザーを個別に調整したい場合は、それぞれの子機にて調整してください。
- ・ Bluetooth 機器が絶対音量でない場合、音質を高めるため、あらかじめ Bluetooth 機器の音量を最大値の 2/3 以上に設定してから、本製品にてお望みの音量へ最終調整してください。
- ・ Bluetooth 機器にて再生や停止を含めた選曲操作ができます。また親機の操作ボタンを使って、選曲操作をすることもできます。
- ・ 親機スピーカと子機スピーカのペアリング有効距離は約 30 m ですが、見通しが良ければ約 100 m まで通信可能です。
- ・ 親機スピーカと子機スピーカの間には障害物がある場合は有効距離は短くなります。

### スピーカ接続を解除する

- ・ 接続を解除したい子機の PLUS (Pair) ボタンを長押しします。すべてのスピーカ接続を解除する場合は、親機の PLUS (Pair) ボタンを長押しします。



### ⚠ 警告

点検、整備の際は必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーおよび AC アダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ バッテリーおよび AC アダプタの電源プラグを本製品に挿し込んだまま行くと、事故の原因になります。

### 本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
  - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

### 症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

### 原因

保護機能が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

### 解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。



解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。



解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。



MR014-MJ-2312  
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)